

No.256

2022年
1月号



さくら

図書館だより



(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館
〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

あけましておめでとうございます

より充実した図書館サービスが提供できるよう務めてまいります。

本年もよろしくお願いいたします。(職員一同)

《 展示のご案内 》

展示期間 1月27日(木)まで

★メイン展示

「和のころ」

新年を迎え、初もうでに行ったり、お餅を食べたり、何かと「和」の文化に触れる機会が多いですよね。そこで今回の展示は、

- ・おりがみ
- ・あじわい深い文字で手紙を書こう
- ・歴史小説を読む～鎌倉時代～

という3つのコーナーを用意しました。



●メイン展示図書より(抜粋)

- 「リース折り紙12か月」「毎日楽しく彩る折り紙」
- 「カラー筆ペンで楽しむはじめての絵手紙」
- 「おしゃれな和のハガキ絵とイラスト」「鎌倉」
- 「北条氏と鎌倉幕府」「執権義時に消された13人」

★サブ展示

「2022年は寅年」

寅年にちなみ、寅に関する本を集めてみました。絵本に始まり、小説や美術本までありとあらゆるジャンルから抜き出しています。

集めてみると意外と多くあるものですね。ぜひ、手に取ってみてください。



●サブ展示図書より(抜粋)

- 「ポケットタイガー」「エルマーのぼうけん」
- 「虎よ、立ちあがれ」「たいくつなトラ」
- 「虎を鎖でつなげ」「虎の城」「名画動物園」

「本の福袋」



本の福袋を作りました。何が入っているのかは開けてからの楽しみ
絵本、子供向け、大人向けの3種類をご用意しています。

ストーリーテリング講座のご案内

物語を覚え、本を使わずに語り聞かせる手法であるストーリーテリングを学んでみませんか。申し込みが必要ですので坂本図書館までご連絡下さい。

講師：森尾靖子さん

(高知おはなしの会)

日時：令和4年2月19日(土) 13:30～

場所：宿毛文教センター 2階 会議室1

料金：無料

読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

滅 私

羽田圭介 著
新潮社

冴津武士は、必要最低限の物だけで生活する通称ミニマリスト。自身で物を持たない生き方を推奨するウェブサイトの運営やグッズのプロデュースを手掛け順風満帆の日々を送っている。そんな中、突如冴津の過去を知る人物が現れ…。

物は捨てれば終わるが、人の心はそうはいかない。ミニマリスト冴津の末路は果たしてどうなっていくのか。

(一般)

60年前と現在の世界地図 くらべて楽しむ地図帳

関眞興 編著
山川出版社

今から約60年前の1960年代、それは第二次世界大戦からの復興が世界各国で進み、新たな歩みを進め始めた時代。そんな激動の時代前夜と現在の地図を比べて見ると国名や国境が変わっていたなど、様々な変化に気付くことでしょう。そうした変化を世界情勢とともに解説。

世界は動き続けていることを再認識するとともに、新たな視点を教えてくれる一冊です。

(児童)

調べてわかる！日本の川 2

佐久間博 編著
汐文社

私たちの身近にある川。さまざまな恵みを与えてくれますが、一方洪水などの水害の危険性もあります。

川の脅威をいかに鎮め、どうコントロールするか、命と暮らしを守る治水の歴史とともに、先人達の成し遂げた偉業と水防の知識を学べる一冊となっています。

(児童)

エイモスさんがバスに乗りおけると

フィリップ・C・ステッド 文/エリン・E・ステッド 絵
光村教育図書

動物園ではたらくエイモスさん。おともだちと遠足に行く計画をねっていたのですが、眠ってしまいました。

はたして楽しみにしていた遠足に行くことはできたのでしょうか？

エイモスさんを心配する動物たちにほっこりさせられます。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

新年に思うこと 山下量子

皆様、新年明けましておめでとうございます。どうぞ今年も、図書館だより「さくら」をよろしくお願い申し上げます。

令和四年の元旦は、晴天ではじまった。そして一月三日、宿毛市福祉センターでは成人式が行われた。艶やかな着物姿の新成人の出で立ち青空にとても映えた。

今年の四月から、成人年齢は20歳から18歳に引き下げられる。18歳の頃の自分は、もうずいぶんと前のことである。が、先日、その頃の自分を思い出すことがあった。それは、映画「ビリギャル」のモデルとなった小林さやかさんの教育講演会がきっかけだった。

「ビリギャル」とは「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話」のベストセラー書籍を元に映画化された。

講演会では当時の彼女の家族背景、そして彼女の努力、そして彼女と彼女の母と塾の講師との3人の連携プレーが成功を生んだことが良く分かった。

受験の前、本腰を入れた彼女は、一日15時間の猛勉強をしていたという。トイレには英単語のメモを貼り、大学の赤本をとことん解く。歴史の細かいところまで丸暗記し、小論文の対策を練る。

・・・その話を聞いて、同じ大学の入試を体験した私も、全く同じ事をやってきたのを懐かしく思い出した。当時は、3時間の睡眠と食事以外は全て勉強で、眠くなったときは、目のまぶたにウナコーワを塗って、3ヶ月過ごしたっけ。

しかし、彼女が言いたいのは、そこまで彼女が努力出来たから慶応大学に行きましたよ、という話では無い。彼女が言いたいのは、そこまで勉強しようと思うモチベーションが何故、出来たのか、ということだった。

そこで彼女の母親が重要人物になってくる。

彼女は彼女の母親に絶大なる信頼を置いている。それは、彼女の母親が、小さい頃から、彼女が何を言っても、うんうんと聞いてくれたことによるという。それを心理学的な言葉で「全肯定」されたと言っていた。

子供の頃から親に自分の意見や話をきちんと聞いてもらえると、「自分は話を聞いてもらえる存在」つまり「自分は価値のある存在だ」と思うようになる。彼女が言っていた。

彼女の言う夢の実現までの秘訣は5つ

1. ワクワクする目標を持つ
2. 根拠の無い自信を持つ

3. 戦略を立てる（相手を知る）
4. 目標や夢を公言する
5. モチベーションが下がる環境を避ける

その中でも2番の「根拠の無い自信を持つ」。これが出来たのは、その母親の育て方による彼女の存在の全肯定があったからだと言う。

自分の存在が価値のある存在だと思っているから、自信が持てる。そのため「無理だ」という否定的な思考はわからないし「トライしてみよう」と思える。あとは、どう攻略するかのみ。

すぐに諦めてしまう人は、2番の自信が無い。自分にそれが出来るという事を信じられなくなってしまう。本来、能力というものは、潜在的広がりがある。けれどもそれを伸ばせないのは、親との関係性がキーであるということに、とても納得がいった。そんな彼女と母親との物語は、書籍「ダメ親と呼ばれても学年ビリの3人の子を信じてどん底家族を再生させた母の話」で紹介されている。

彼女は、教師や親の期待によって学習者の成績が向上する「ピグマリオン効果」について触れていた。

彼女の母が、彼女を信じたこと。そして塾の講師が彼女の潜在能力を信じたこと。それが最大限に効果を発揮し、学年ビリのギャルが一年で慶応大学に合格するという快挙を成し遂げたのだ。

「今だけ楽しければ良い」というギャルの彼女は、ある時から、「慶応大学に入学している未来の自分」に対して時間を投資するようになった。母親もたくさんのお金を投資した。それは、子供の目標を叶えるために、親も一緒に同じ方向に向かうという素晴らしいタグだったと思う。

親というものは、「そんな無理だから辞めなさい」と言いがちだと彼女は言う。その親の意見は、確かに正しいと。その親がそれを成し遂げられなかったから、その経験からものを言っているから正しいと。けれど、親と子供とは違う。親がもし無理だと決めつければ、子供は大きな可能性を秘めているのに、それを発揮するチャンスを失ってしまう。だから周りの大人が子供を信じてあげること、子供の夢と一緒に向かってあげること、それが子供の能力を最大に引きだすことになるのだ、と続けた。

私は、そんな大人でいたい。

そして彼女が最後に言った言葉をこの新年の始まりに紹介して締めくくりたい。

それは

「意思あるところに道は開ける」

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「機械学習をめぐる冒険」 小高知宏
 1 「文系のためのめっちゃやさしい心理学」 下山晴彦
 2 「60年前と現在の世界地図くらべて楽しむ地図帳」 関貞興
 2 「執権義時に消された13人」 榎本秋
 3 「ヤングケアラー」 毎日新聞取材班
 3 『Web選考は「準備」が9割！』 田中亜矢子
 4 「桂浜水族館ダイアリー」 おとど
 4 「つらくなる前に知っておきたい閉経のきほん」 上田嘉代子
 5 「おすし」 松田美智子
 6 「ペットの命を守る本」 サニー・カミヤ
 7 「グリーンウッドワーク」 久津輪雅
 7 「筋トレの科学」 オースティン・カレント
 7 「奥谷博一無窮へ」 奥谷博
 8 「読み解き！方言キャラ」 田中ゆかり
 9 「松本隆 言葉の教室」 松本隆
 9 「ぜんぶ愛。」 安藤桃子
 9 「新しい星」 彩瀬まる
 9 「ロミオとジュリエットと三人の魔女」 門井慶喜
 9 「答えは風のなか」 重松清
 9 「その花の名を知らず」 長野まゆみ
 9 「黄金旅程」 馳星周
 9 「滅私」 羽田圭介
 9 「ミス・パーフェクトが行く！」 横関大

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「総合百科事典ポプラディア」
 「366日の感動物語」 木平木綿
 「かっこいいなしょうぼうし」
 「知りたいおぼえたい季節をめぐる花言葉」 川崎景介
 「親子で遊べる季節のたのしいおりがみ」 Oriya小町
 「ぼくんちのねこのはなし」 いたうみく
 「だいとかいのおぼけずかん」 斉藤洋
 「かいけつゾロリきょうふのダンジョン」 原ゆたか
 「ガラスの魚」 山下明生
 「ニルスのおしぎな旅 5」 セルマ・ラーゲルレーフ
 「平等ってなんだろう？」 齋藤純一
 「推理教室Q」 岬かつみ

絵本



- 「ことば忍法オノマトペ」 富川晴名
 「でんしゃすきなのだーれ」 岡本雄司
 「だいちゃんとマスくんのハテナ」 こがようこ
 「はっけよい！おせちばしょ」 奥原弘美
 「とらのゆめ」 タイガー立石
 「おんぶおんぶ」 三輪円香
 「しりたがりのおつきさま」 花里真希
 「十二支はたいへんです」 梶田向省
 「きたかぜさま」 星野なおこ
 「おふろにはいるときは」 谷本美弥子

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
 そちらもぜひご覧ください。

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

■ は休館日